

H30年度有料道路事業の導入・全線事業化

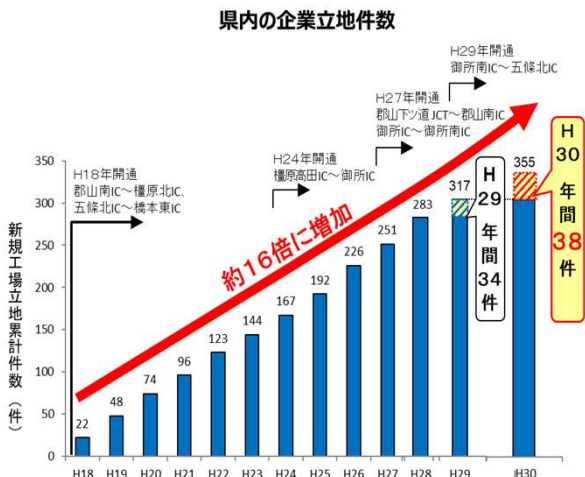
⇒ H31年3月10日起工式

(仮称)奈良IC～郡山下ツ道JCTの工事推進

整備効果

②企業立地の潜在力の向上

京奈和自動車道県内初の開通から10年余
新規企業立地 累計355件 年間20件以上を維持



出典：工場立地動向調査(経済産業省)



整備効果

④災害・事故に強い道路ネットワークの確保

整備効果

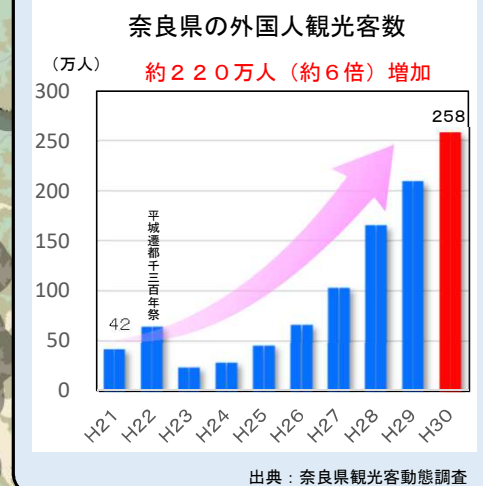
①渋滞の緩和/物流の効率化



大和北道路 起工式 (H31.3.10)

整備効果

③世界遺産の観光周遊の向上



安全・安心に資する対策の推進

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の充実を!!

- 奈良県では、道路法面対策や内水対策など、『3か年緊急対策』の着実な推進のため、令和2年度に200億円以上が必要であり、計画全体に必要な予算の総額確保
- 県土強靱化の実現に向けて、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の拡充・継続が必要

老朽化対策の着実な推進

- 1巡目点検を踏まえ、早期に措置を講ずるべき状態である施設(Ⅲ判定)の速やかな修繕が必要 (奈良県内997橋)
 - 将来的な予算総額を抑制するために、予防保全型※への移行も図ることが重要 (※不具合が生じる前に対策を講じる)
- ⇒ さらなる重点的な予算の確保